

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		健康都市杉並の推進			款	4	項	1	目	1	事業	13	整理番号	121			
担当部課名		保健福祉部管理課			係名	健康都市推進担当		連絡先電話番号	内1344			昨年度整理番号	117				
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分								既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	4	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等				(1) 健康増進法・21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (2) 健康都市杉並庁内推進会議設置要綱						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○健康を支援する環境づくり、条件整備を行うことにより、子供から高齢者まで、障害のある人もない人も安心して健やかに生活できる「健康都市杉並」を実現します。				活動指標名(式)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○健康都市杉並庁内推進会議及び部会の運営 ○健康都市指標を活用した課題分析(健康都市指標調査の実施) ○健康都市白書の発行 ○福祉人材就学資金の貸付による福祉人材の確保(16年度に貸付事務終了・現在は償還事務のみ)				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	目標値							
指標	活動指標(1)	①	部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	100.0	100.0					
	活動指標(2)	②															
	成果指標(1)	③	%	81	82	85	85	85	85	85	100.0	100.0					
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,605	7,859	6,087	3,683	2,373	1,894	21年度予算執行率%		64.4					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	1,994	4,536	3,529	2,755	1,874	1,329								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.34 0.00	4.05 0.00	4.08 0.00	1.75 0.30	1.49 0.30	2.25 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	12,248	36,653	36,924	15,538	13,230	19,978							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	838	838	0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	14,853	44,512	43,011	20,059	16,441	21,872								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	12,378	37,093	35,843	16,716	13,701	18,227								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0							
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	14,853	44,512	43,011	20,059	16,441	21,872								
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 121

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	健康都市指標の調査(執)	1	回	1,842
	健康都市白書の発行(執)	1200	部	531
	償還対象者への納付書発行、文書、電話等の通知、償還相談対応、変更手続き等			0
	その他 ()			0
(2)事業実績	健康都市指標の調査については、生活環境意識・実態調査を行い、平成12年度の調査結果等と比較しました。健康都市杉並庁内推進会議を3回開催しました。			
事業環境 の変化	<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>平均寿命は、13・20年度(男78.0歳・80.4歳)(女84.5歳・86.6歳)と男女ともに延伸、健康と感じている20歳以上の人の割合は、13・21年度(79.2%・85.2%)となっています。貸付事業の開始当初は看護や介護の人材不足が社会問題となり、福祉マンパワーの確保が優先課題でしたが、介護保険制度の導入により資格取得者は増加しました。</p> <p>事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)</p> <p>健康都市白書について、他自治体からの問い合わせおよび食品衛生推進員に対する説明の要望があり対応しました。福祉人材就学資金については、他に資金貸付の制度はないかという問い合わせがありました。</p> <p>今後の予測</p> <p>健康に対する区民の関心は、新興感染症や食品安全など健康危機管理に対する区民の関心とともに、多様化することが予測されます。</p>			
事業の あり 方 点 検	左の理由または具体的内容			
(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	健康都市の理念、現状、課題等の共有化、全庁的な取組みとして推進していくために、白書の発行、庁内推進会議の実施、保健福祉計画の策定は、貢献度が大きいです。			
(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	調査・白書発行、計画策定については区民への直接的な成果向上を求めるものではないため。			
(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	負担の対象となる受益者がいないため。			
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	健康都市指標の調査については、平成20年度に事業開始当初と同規模に減額し、さらに平成22年度に減額したため。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進		
評価と課題	全庁的に取り組むべき新たな課題や所管が明確になっていない課題について、健康都市杉並庁内推進会議のもとに各種部会を設置し検討をすすめました。今後の課題は、自殺対策における関係部局の相談力の向上および食育推進における杉並区食育推進計画の策定、喫煙対策における受動喫煙対策の検討をすすめていくことです。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	自殺対策や食育推進等、継続的に取り組みをすすめている健康課題に対して、健康都市杉並庁内推進会議や部会設置等により、関連各部・課の共通認識と連携体制を強化し、全庁的かつ継続的な取組みとなるよう検討をすすめました。22年度は、予算の適正化に努めるため、健康都市指標の調査の経費を削減しています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	健康都市杉並を推進していくために、区のあらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れた公共政策づくりを全庁的かつ継続的に取り組んでいきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	複数の分野にかかわる健康課題の解決に向けては、部を超えた連携体制の構築に時間を要することが阻害要因としてあります。克服方法としては、各分野にかかわる情勢変化や新たな健康課題について迅速に把握するとともに、健康都市杉並庁内推進会議への付議や部会設置等により、関連各部・課の共通認識と連携体制を強化していきます。	
	(1)23年度予算見積の方向性	● 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
(2)理由	平成23年度以降の基本計画策定の基礎づくりとして、新たな健康都市杉並のあるべき姿を検討し、健康の視点を取り入れた公共政策を立案するための基礎資料として健康都市指標調査を行うため。	

23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	● 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由	平成23年度以降の基本計画策定の基礎づくりとして、新たな健康都市杉並のあるべき姿を検討し、健康の視点を取り入れた公共政策を立案するための基礎資料として健康都市指標調査を行うため。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所一般事務		款	4	項	5	目	1	事業	1	整理番号	312
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	300	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	55	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並保健所設置条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	庶務的経費を効率的に管理し、限られた予算の中で担当部内業務の効率的執行を行うとともに、職員がより安全かつ効率的に業務を行えるようにします。		活動指標名(式)		(1) 杉並保健所職員数 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○事務用品類の購入及び事務機器等の保守等 ○医療業務に従事する職員の傷害・賠償保険等の加入 ○衛生主管部としての担当部内各課の連絡調整事務		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代) 予算執行率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	115	114	114	109	112	110	101.8	102.8		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	89	100	89	100	86	100	85.8	85.8		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	6,061	6,514	5,788	6,520	5,596	6,993	21年度予算執行率% 85.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	1,314	1,559	1,376	1,625	1,378	1,625	19年度は保健所維持管理とあわせて事務事業評価を行っていました。			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.30 0.00	1.20 0.00	1.61 0.00	1.20 0.30	1.35 0.30	1.50 0.00	活動指標の職員数は、杉並保健所四課(地域保健課、健康推進課、生活衛生課、保健予防課)及び荻窪保健センター職員の合計数。			
	人件費	⑨	千円	11,882	10,860	14,571	10,655	11,987	13,319				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	838	838	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	17,943	17,374	20,359	18,013	18,421	20,312				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	156,026	152,404	178,588	165,257	164,473	184,655				
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
国からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑰	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑱)	⑲	千円	17,943	17,374	20,359	18,013	18,421	20,312					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 312

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				複合事務機の使用賃借及び消耗品供給契約	3
		東京都保健医療情報センターにおける連絡通報受理業務委託(委託等)	1	件	1,292
		保健所事業に従事する医師等の傷害保険			1,101
		保健所業務に関する賠償責任保険			604
		その他 (製版印刷機及びカラードラムの借料ほか)			1,433
(2)事業実績		複合機の消耗品供給契約、製版印刷機の借料などの管理事務経費の執行のほか、保健所に従事する雇い上げ医師等に対する執務環境を整えるため、賠償責任保険の加入やB型肝炎特殊検査などを行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、保健福祉部が部全体の調整機能を担うことになりましたが、衛生主管部として担当部内の連絡調整を担うこととなりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	より適正な予算執行が求められます。			
	今後の予測	統合内部情報システムの本格実施に伴い、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されていますが、一方で情報量の増加に伴い、複合機(コピー・プリンタ)の依存が高まると思われます。また、組織を横断した課題が多くなり、より一層連絡調整機能が増加すると思われます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 施策に貢献する事業を円滑に進めていくうえで、適正な執行管理は欠かせないためです。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	庶務事務システムや新財務システムの本格実施により、より一層資源の省力化を図ります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	職員対象の経費であるためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[OA化](具体的内容→)	新財務会計の本格稼働			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している (3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) (4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	紙の再利用や昼休憩時の一部消灯など、杉並区環境・省エネ対策実施プランに取り組み、引き続き省エネ省資源化に努める必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	文書の電子化は進んでいますが、複合機(コピー・プリンタ)の使用量については、増加しています。情報量のさらなる増大が原因とみられますが、引き続き削減に向け努力していきます。高速カラー印刷機導入により賃借料が増額しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	文書の電子化を一層進めます。複合機(コピー・プリンタ)の使用量については、情報量が増大し増加が見込まれますが、裏面使用等のルール徹底を行い、削減に向け努力します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	各種会議での資料等の重複が見受けられるので、配布や活用方法について検討し実施します。(事前にメール配信したものを改めて印刷して配布しないなど)	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理 由	統合内部システムの本格稼働等により、可能な限り電子化されており、今後の紙の使用量の大幅な削減は見込めませんが、杉並区環境・省エネ対策実施プランの視点からも、引き続き削減に努めていきます。また、事務用品等の購入に係る予算を精査し、予算執行管理を行っていきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		衛生統計調査		款	4	項	5	目	1	事業	4	整理番号	315	
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係		連絡先電話番号		4528		昨年度整理番号	303		
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等							(1) 統計法 (2) 統計報告調整法
	事業の目標	（対象をどのような状態にしたいのか） 各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させます。							活動指標名（式）					
	活動内容	（事務事業の内容、やり方、手順） ○厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。 ○人口動態調査の調査票に基づき、杉並区の人口に関する統計資料を作成する。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)		(代)調査件数								
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	件	5	11	11	8	8	9	88.9	100.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	件	14,092	18,000	24,629	15,000	14,194	18,000	78.9	94.6			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,906	3,310	2,264	2,424	1,959	3,136	21年度予算執行率% 80.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 調査内容は、厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染みません。 活動指標には、今年度、厚生労働省から委託された統計調査の実施数を、成果指標にはその実施する統計調査の予想件数を代替指数として用いました。				
	(内)委託費	⑦	千円	22	779	548	215	63	461					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.54 0.00	0.54 0.00	0.54 0.00	0.20 0.30	0.23 0.30	0.50 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,936	4,887	4,887	1,776	2,042			4,440		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	838	838			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	6,842	8,197	7,151	5,038	4,839	7,576					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,368,400	745,182	650,091	629,750	604,875	841,778					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0		
		国からの補助金等	⑭	千円	2,413	532	644	643	666			691		
都からの補助金等		⑮	千円	/	2,364	2,060	1,765	1,294	2,437					
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,413	2,896	2,704	2,408	1,960	3,128					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	4,429	5,301	4,447	2,630	2,879	4,448					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 315

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	国民生活基礎調査	326	世帯
		中高年の生活に関する縦断調査	59	人	465
		21世紀成年者縦断調査	42	人	411
		国民健康・栄養調査	57	人	668
		その他 (人口動態調査、社会問題調査等)			100
	(2)事業実績	予定されていた統計調査が実施されました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	急速な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報保護の意識が高まり、統計調査に対しての不信感が高まっています。			
	今後の予測	個人情報保護の意識の高まりから、調査拒否の世帯が増えていくと思われます。それに伴い、調査方法の見直しがさらに進められていくと思われます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 衛生統計調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であり、調査目的・対象・規模が定められているためです。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益者負担は無いためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であり、調査目的・対象・規模が定められているためです。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	個人情報保護の観点から、年々統計調査を拒否する世帯が増えてきています。特に採血を伴う「国民健康・栄養調査」については、調査拒否世帯が多い状況です。調査内容や方法については国が決めますが、調査員による対面方式以外に郵送回収やインターネット調査の導入など、区民の実情に合わせた調査となるよう、都や国に要望します。また、調査員の高齢化や担い手の少ない状況が今後も続いていくことが予想され、調査事務の民間委託について検討していく必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	調査対象世帯に調査の案内を配布するなど、調査の目的や調査結果の活用方法についての周知に努め、調査に対する理解と協力を図りました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	統計資料がどのように活用されているかを区民に知らせることにより、統計調査の有用性を認識してもらい、調査票の回収率を向上させ、精度の高い統計調査にしていくことが必要だと思われます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	抽出調査なので、広報等で広く周知させることは馴染まないため、区民の協力が得られないことが考えられます。解決方法としては、調査員が区民に対して今まで以上に丁寧に解りやすく説明できるように、調査員向けの説明会などを充実させていくことだと思われます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	● 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	23年度は統計調査数が減となり、一部の調査の規模が小規模調査となるため。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		各種保健事業推進活動			款	4	項	5	目	1	事業	5	整理番号	316
担当部課名		杉並保健所地域保健課			係名	管理係			連絡先電話番号	4528			昨年度整理番号	304
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 区民、保健所関係団体等			根拠法令等		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 自殺対策基本法							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の保健に対する意識を高め、関係団体の保健活動をさらに積極的なものとするを目的とします。			活動指標名(式)		(1) 区内献血者数 (2) 庁内献血者数(イベント等も含む)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○自殺者の減少をめざして、自殺予防の普及啓発、相談窓口の対応力強化を進める。 ○関係団体と協力して、献血、薬物乱用防止、骨髄バンクドナー登録などの活動を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 自殺予防シンポジウム等参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 自殺者数の19年比削減率 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	1,834	5,000	1,751	5,000	1,760	5,000	35.2	35.2			
	活動指標(2)	②	人	201	250	176	250	124	250	49.6	49.6			
	成果指標(1)	③	人	0	800	712	800	2,061	1,000	206.1	257.6			
	成果指標(2)	④	%	0.0	5.0	2.6	10.0	18.4	20.0	92.0	184.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	5,750	8,020	7,632	9,697	9,333	8,231	21年度予算執行率%		96.2		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○骨髄バンクドナー登録推進キャンペーンを実施したため、21年度の事業費は20%以上増加しました。 ○秋の自殺予防月間で行った鎌田實氏の講演会が800名以上の参加者を集めたため、成果指標(1)自殺予防シンポジウム等参加者数は、大幅に増加しました。 ○成果指標(2)自殺者数の削減率も、20年度を10ポイント以上、上回っています。				
	(内)委託費	⑦	千円	0	1,321	1,321	889	877	735					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.71 0.00	1.10 0.00	1.53 0.00	1.20 0.20	1.59 0.20	1.60 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,489	9,955	13,847	10,655	14,118					14,206
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	559	559					0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	12,239	17,975	21,479	20,911	24,010	22,437					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	6,673	3,595	12,267	4,182	13,642	4,487					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		⑮	千円		678	920	1,251	1,221	2,061					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	678	920	1,251	1,221	2,061					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	12,239	17,297	20,559	19,660	22,789	20,376					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 316

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	杉並区自殺予防月間(春・秋)	2	回	1,919
		骨髄バンクドナー登録推進活動等	3	回	1,381
		区民健康保持事業等補助金	3	団体	5,106
		地域保健推進協議会	2	回	302
		その他()			625
(2)事業実績	5月と9月の杉並区自殺予防月間には、自殺対策シンポジウムや講演会、自死遺族のパネル展示、クラシック・コンサートなどの事業に取り組むとともに、相談事業を強化し、区内の自殺者数を大幅に減少させました。骨髄バンク登録や薬物乱用防止などの取組を推進し、医師会等による健康保持事業や赤十字の献血事業等を支援しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助については、適宜見直しを行い、適正化に努めています。 ○近年の薬物事犯者が増加傾向にある状況の中、薬物乱用防止の普及活動は重要さを増しています。 ○杉並区の自殺者は毎年100人を越えていましたが、自殺対策事業に取り組んだ結果、21年には前年より20名弱自殺者を減らすことができました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○少子高齢化の進展や健康志向の増加を背景に、区民の保健事業に対する関心は高まっています。 ○自殺を個人の問題ではなく、重大な社会問題として捉える考え方が広がり、区民の自殺対策事業に関する期待や関心にも高まりがみられます。			
	今後の予測	○区民の健康を守るためには、関係団体等と連携して様々な事業に取り組む必要があります。 ○今後は、自殺対策や骨髄バンク登録推進、薬物乱用防止などの事業に、今まで以上に積極的に取り組むことで、区民の意識を高めていくことが必要です。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 各種保健事業を展開することによって、関係団体や区民の健康保持への理解が深まり、健康なまちづくりを進めることができるから		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		区の広報やホームページ、パブリシティー等を積極的に活用し、普及啓発を進めます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		区民に直接的利益を供与する事業でないため、受益者負担は難しい。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		各団体の補助金については、それぞれ積極的な活用がされており、又、近年見直したばかりであり、当面は現状を維持します。		
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
(3)協働等の形態 協働[事業協力]		(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		5月と9月の杉並区自殺予防月間を中心に普及啓発事業や相談事業に重点的に取り組むとともに、区の相談窓口の対応力向上のためにゲートキーパー研修などを実施した結果、区内の自殺者数を大幅に減少させることができました。また、骨髄バンク登録や薬物乱用防止などの取組を推進し、医師会等による健康保持事業や赤十字の献血事業等を支援しました。 今後は、より効果的な普及啓発の方法を探ることが課題です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	○自殺対策事業においては、区内の自主グループと連携して映画上映会や講演会を開催するとともに、勤労者福祉協会や青色申告会の講演会に協力するなど、関係団体の活動を支援しました。 ○骨髄移植推進財団と協力して、骨髄バンク登録推進杉並キャンペーンを行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	○区民の健康意識を高めるために、区民や関係団体等との連携を今まで以上に進め、地域の団体等の活動を支援していきます。 ○区民への情報提供や普及啓発を推進するために、インターネットや各種メディアの活用に取り組みます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	○区民に対して各種事業の普及啓発をさらに推進するため、今後は既成の活動団体だけではなく、区内で活動する自主グループやNPO法人等とも幅広く連携して事業を進めていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	○保健に関係する事業は短期間で成果を上げる事が難しいため、継続的に取り組む必要があります。現在と同程度の予算を維持しつつ、長期的な観点でより効果的な事業展開を図ります。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並健康都市づくり			款	4	項	5	目	1	事業	6	整理番号	317					
担当部課名		杉並保健所地域保健課			係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	305						
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進			予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	区民、健康づくり団体、事業者									根拠法令等	(1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)		
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくりに関する地域ネットワークが整備され、区民・事業者・行政が健康都市の理念を共有し、区民が安心して健康に暮らしていける状態にします。										活動指標名(式)	(1) 「健康都市杉並ファロ」参加者数 (2) 「よい歯ファミリーフェスティバル」参加者数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区民・関係団体と協働し、イベント(健康都市杉並ファロ・よい歯ファミリーフェスティバル等)を開催する。										成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		成果指標名(1)		(代)「健康都市杉並推進月間」協賛団体数		算定式・指標の説明等				成果指標名(2)		「よい歯ファミリーフェスティバル」表彰家族数		算定式・指標の説明等					

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
		実績	計画	実績	計画	実績	計画										
指標	活動指標(1)	①	人	627	1,000	740	1,000	421	500	84.2	42.1						
	活動指標(2)	②	人	350	500	440	500	0	500	0.0	0.0						
	成果指標(1)	③	団体	48	60	16	20	18	20	90.0	90.0						
	成果指標(2)	④	家族	24	30	22	25	6	30	20.0	24.0						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,895	2,321	1,978	1,043	578	991	21年度予算執行率% 55.4							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○新型インフルエンザの流行により、杉並保健所が会場として使用できなくなったため、「よい歯ファミリーフェスティバル」は開催を取りやめました。 ○このことにより、活動指標(1)「よい歯ファミリーフェスティバル」参加者数及び成果指標(2)「よい歯ファミリーフェスティバル」表彰家族数の21年度の数値はいずれも0となっています。 ○また、21年度の予算執行率が低いのもこのためです。							
	(内)委託費	⑦	千円	358	1,050	1,049	247	238	147								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.38	0.00	1.64	0.00	1.20	0.00			1.38	0.00	1.03	0.00	0.72	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	12,613	14,842	10,860	12,253	9,145			6,393					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	14,508	17,163	12,838	13,296	9,723	7,384								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	23,139	17,163	17,349	13,296	23,095	14,768								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0					
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	14,508	17,163	12,838	13,296	9,723	7,384								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 317

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	健康都市杉並ファロの開催	1	回	543
	よい歯ファミリーフェスティバル開催		回	35
	その他 ()			0
(2)事業実績	<p>○21年度は、保健所主催のイベントとして「健康都市杉並ファロ」を実施し、関係団体等のイベントを「健康都市杉並推進月間」の取組みとして支援しました。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」は、11月8日開催予定で準備を進めていましたが、新型インフルエンザ流行のピークと開催時期が重なり、約1か月前に中止を決定しました。表彰者6組には、表彰状と記念品を郵送しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○「健康都市杉並ファロ」は平成12年より毎年開催しています。21年度からは、従来の「中央イベント」のみを「健康都市杉並ファロ」として実施しています。20年度で「健康づくり推進員」が廃止になり、新たに「健康づくりリーダー」が発足しました。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」は、区歯科医師会に加え平成15年度より東京都歯科衛生士会・区歯科技工士会を協賛団体として実施しています。21年度は開催中止になりましたが、健康づくりリーダーも主体的に参加できるように準備をしていました。</p>		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○「健康都市杉並ファロ」は、内容については比較的好評ですが、地域団体との協働のあり方などについて区民から意見・要望が出されています。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」は今年度中止となりましたが、来年度は開催するように要望がありました。</p>		
	今後の予測	<p>○区民・地域団体を主体にした事業展開を進めていくことが、健康都市の理念の普及には効果的です。今後も、「健康都市杉並推進月間」を中心に、健康なまちづくりの実現に向けた取組みを推進していきます。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」と区歯科医師会が実施している「区民講座」との整合性をとりながら、より歯科保健の普及啓発の場を充実していく必要があります。</p>		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)	健康なまちづくりの推進に必要な、健康都市の理念の共有に一定の貢献をしています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)			
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	イベント内容の見直しやPR方法の工夫により、より多くの区民・地域団体の参加を促すことで、更なる成果の向上が見込まれます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	杉並健康都市づくり事業については、今後区民が主体的に事業を実施するにしても、受益者負担にはなじまないと思われます。		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現状の経費は、事務運営上必要な最低限の経費であり、削減は困難です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
	評価と課題			
21年度から、従来「健康都市杉並ファロ」の取組みとして行っていた地域団体や関係団体のイベントは、「健康都市杉並推進月間」の名称で行うことになりました。まだ取組みを始めたばかりですが、今年度は新たに区内の病院が協賛団体として参加するなど、徐々に広がりを見せつつあります。地域団体との連携など課題も残っていますが、今後もこの取組みを進めていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	○「健康都市杉並ファロ」は、「健康都市杉並推進月間」の中の1イベントとして開催しました。また、その会場内に「足りていますか?1日の野菜」という「健康づくりリーダー」のコーナーを設置し、健康づくりの普及啓発を図りました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	○今後は、「健康都市杉並推進月間」の期間(10月・11月)に健康づくりのイベントを開催してもらうよう、関係機関等への働きかけを強化し、区民と連携して健康づくり事業を進めていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	○「健康都市杉並推進月間」の名称・内容等が区民に浸透するように、より一層PRに努める必要があります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	○現在の予算は、事業の運営に最低限必要です。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		住民参画の健康なまちづくり		款	4	項	5	目	1	事業	12	整理番号	323						
担当部課名		杉並保健所健康推進課		係名	健康推進係		連絡先電話番号		4524		昨年度整理番号	311							
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業							
事業開始		平成	▼	9	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2,4	政策番号	1,1	施策番号	1,1	事業コード	1,11	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 健康増進法 (2) 食育基本法												
	健康づくり推進員、健康に関心を持ち健康なまちづくりへの参画ができる区民																		
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		○メタボリックシンドロームの予防の知識をボランティアが区民に普及する。 ○保健所における自主グループ活動を増加し健康づくりの仲間を増やす。 ○杉並区食育推進計画を検討、策定する。		活動指標名(式)		(1) 新規誕生自主グループ数 (2) 健康づくりリーダーの登録数												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		○杉並地域大学において健康づくりリーダー講座を実施し、講座修了者を健康づくりリーダーとしてボランティア登録する。 ○保健所の健康講座等に参加した区民に呼びかけ、健康に関する区民の自主グループを結成し、食育や健康づくりに参画する区民のネットワークを拡大する。 ○杉並区らしさを盛り込んだ具体性のある食育推進計画を検討し、策定する。		成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標												
				成果指標名(1)		自分は健康だと思う区民の割合													
				算定式・指標の説明等															
				成果指標名(2)		適正な食事内容を知っている人の割合(20歳以上)													
				算定式・指標の説明等		20歳以上													
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績		計画		実績												
指標	活動指標(1)	①	団体	9	10	5	10	11	10	110.0	110.0								
	活動指標(2)	②	回				50	41	30	136.7	82.0								
	成果指標(1)	③	%	80.8	82.0	85.2	85.0	85.3	85.0	100.4	100.4								
	成果指標(2)	④	%	59.0	60.0	60.1	62.0	60.1	62.0	96.9	96.9								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,795	6,177	5,603	5,791	3,727	4,249	21年度予算執行率% 64.4									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	0	3,101	3,068	3,100	1,867	611	※活動指標(2)は21年度からの事業であり、旧健康づくり推進員からの移行があったので指標は大きく設定してある。									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	6.43 0.43	6.43 0.43	6.80 0.43	5.62 1.03	6.37 0.63	6.41 0.88										
	人件費	⑨	千円	58,770	58,192	61,540	49,900	56,559	56,914										
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,191	1,204	1,204	2,877	1,760	2,458										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	61,756	65,573	68,347	58,568	62,046	63,621										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	6,861,778	6,557,300	13,669,400	5,856,800	5,640,545	6,362,100										
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0										
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	1,779	1,824	1,706	390										
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	642	129	968											
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0											
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	1,779	2,466	1,835	1,358											
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	61,756	65,573	66,568	56,102	60,211	62,263											
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 323

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	杉並区食育推進計画の検討、策定			2,198
	地域団体との共同事業開催(5保健センター)及び地域支援講習	38	回	576
	自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)	1056	人	328
	健康づくりリーダー活動	41	人	431
	その他(地域食育普及イベントほか)			194
(2)事業実績	健康づくりリーダーは、21年度からの事業であり、地域大学を受講した者からリーダーとして登録し、健康づくり活動をするものです。リーダー自身が考え、実施、評価することを基本としており、健康に関するイベントの実施や商店街等の地域のイベントに参加し、健康づくりに寄与しています。杉並健康ネットワークは、自主グループの交流と活性化を図り持続的な活動を支えています。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康づくりリーダー 平成21年 41名 自主グループ新規設立数 平成9年 16グループ、平成21年 グループ		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	楽しみながらできる運動や手軽にできるウォーキングなど身近な住民が、熱心に実施してくれるので親しみやすい。日常的にできる運動や健康に関する正しい知識、新しい話題など充実させて欲しいなどがあります。		
	今後の予測	メタボリックシンドロームの定義が社会的関心と呼ぶなど、肥満の問題は今後ますます重要となるものと考えられます。肥満と反対に若い女性の痩せの問題や高齢者の低栄養化の問題など解決すべき課題は多く、区民のボランティアとしての健康づくり活動は今後多くの需要が見込まれます。		
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)	地域の実情を理解し、課題解決に向けて主体的に取り組む区民との協働は健康づくり活動に重要な推進基盤となります。		
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	ボランティアとして活動できる効率的な事業を多く展開していきます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	健康づくりリーダーとして21年度から活動しており、より実践的な活動ができるよう態勢を整備します。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	すでに必要に応じて受益者負担になっています。		
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	健康づくりリーダーは、ボランティアとしての区民との協働を実現するものでとても重要です。区民の健康寿命の延伸化を支える原動力となりますので、健康づくりへの高い使命感の醸成とその持続が必要です。食に関して早くて安いものを指向したり、安全性を重視するなど区民には様々な考えがあります。健康的な食事のために様々な手法を考える必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	町会、自治会からの推薦により主に構成されていた健康づくり推進員制度を取りやめ、地区会への補助金も廃止しました。新たに健康づくりリーダーが発足しメタボリックシンドローム予防等の活動を開始しました。杉並にふさわしい食育のため推進計画を検討し、策定します。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康づくりリーダーの研修等を実施し、質が高く区民ニーズに沿った事業展開をします。区民と事業者が協働し、安心・安全な食の提供や楽しい食生活ができるような計画を策定します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 健康づくりリーダーの登録者は、社会経験や能力が様々ですから個人個人の能力が生かせるような研修や業務執行態勢を整える必要があります。食育に関する区民一人ひとりが持つイメージが異なりますので、食育イベントなどで適切に把握し、食育推進計画を策定します。	
23年度方針	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
(2)理由	健康づくりリーダーの能力が十分に活用できる事業展開を目指し、そのための基盤づくりをします。食育等は楽しく家族や地域で実践できる事業や計画を考えます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共的施設の分煙化の推進			款	4	項	5	目	1	事業	13	整理番号	324						
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524			昨年度整理番号	312						
上位施策No・施策名										22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分		既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 喫煙対策実施施設の登録:健康増進法第25条に規定する施設講演会等、普及啓発:一般区民																		
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○喫煙対策実施施設の登録:公共的施設が受動喫煙防止のための対策を講じ、杉並区喫煙対策実施施設として登録する。 ○講演会等、普及啓発:区民がたばこ健康に関する正しい知識を得て、禁煙を促し受動喫煙を予防することができる。																		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○喫煙・受動喫煙の害についての普及啓発:ポスターの掲示やパンフレットの配布等による普及啓発を図る。 ○喫煙対策実施施設の登録:施設に対し登録勸奨を行い、申請があった施設を登録。施設玄関等にプレートを表示するとともに、ホームページに掲載し、区民が受動喫煙防止対策施設の利用がしやすいようにする。 ○講演会等:禁煙・受動喫煙防止講習会の実施や禁煙についての情報提供を行う。																		
根拠法令等		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱																		
活動指標名(式)		(1) ポスター・パンフレット作成・配布数 (2) 講演会参加者数																		
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																		
成果指標名(1)		喫煙対策実施施設の登録数																		
算定式・指標の説明等		17年度からの累計																		
成果指標名(2)		喫煙者率																		
算定式・指標の説明等		杉並区生活習慣行動調査(3年毎一平成20年実施)																		
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%									
		実績	計画	実績	計画	実績	計画													
指標	活動指標(1)	①	枚	7,100	7,100	6,800	7,100	7,200	7,200	100.0	101.4									
	活動指標(2)	②	回	42	150	20	30	39	30	130.0	130.0									
	成果指標(1)	③	件	196	300	356	500	471	550	85.6	94.2									
	成果指標(2)	④	%	28.0	21.0	18.9	19.0	18.9	19.0	99.5	99.5									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	819	1,410	1,075	1,910	1,389	900	21年度予算執行率% 72.7										
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 喫煙対策実施施設として登録時配布のプレートよりステッカーの配布希望施設が多いため、プレートの印刷枚数を少なくしました。										
	(内)委託費	⑦	千円	0	340	268	140	39	90											
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.34 0.10	0.34 0.10	0.34 0.20	0.11 0.30	0.06 0.30	0.21 0.20											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,108	3,077	3,077	977	533			1,865								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	277	280	560	838	838			559								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,204	4,767	4,712	3,725	2,760	3,324											
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	592	671	693	525	383	462											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	883	955	955			450								
		都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0			0								
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0			0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	883	955	955	450											
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	4,204	4,767	3,829	2,770	1,805	2,874											
受益者負担比率⑬÷⑰	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 324

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		内 容		
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	喫煙対策実施登録施設へのプレート印刷・配布	1800	枚	498
	普及啓発用ポスターおよびチラシの作成・配布	7200	枚	273
	喫煙の害など周知用ティッシュペーパーの作成・配布	5000	個	231
	禁煙講座の実施	3	日	40
	その他(消耗品購入)			347
(2)事業実績	乳幼児や母親の受動喫煙を防止するため、母子手帳配布時のパンフレット配布や母親学級・乳幼児健診等での禁煙指導等を行いました。また、世界禁煙デー・禁煙週間にポスターの掲示や講習会など一般区民への喫煙及び受動喫煙の害についての普及啓発をおこない、禁煙希望者については相談・指導を行いました。飲食店や理髪店等については、各講習会で制度のPRや郵送による登録の勧奨をおこないました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の健康増進法に伴い、公的施設や医療機関、公共交通機関の分煙化は、進んでいます。公共的施設の分煙状況調査によると15年に比較し、飲食店は17ポイント、理容等の施設は20ポイント増加していますが、全体の割合からするとまだまだ少ない現状です。また、杉並区の喫煙率は、平成20年度は19%と徐々に低くなってきています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公共的施設(特に飲食店)での望まない受動喫煙を防止するため、禁煙施設の増加に関する要望は多くなっています。		
	今後の予測	平成22年2月に厚生労働省から公共的施設の受動喫煙防止についての通知が出されました。その通知により屋内は全面禁煙の方向性が出されています。今後、受動喫煙防止対策の施設は増加すると予測されます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	区民に対する普及啓発や喫煙対策実施施設の登録を促進させることで、受動喫煙を防止する環境整備や喫煙者を減少させることができ、健康なまちづくりの実現に貢献しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	禁煙を希望する区民に対して、具体的なサポート方法を検討します。また、喫煙対策実施施設の登録制度について、実施方法の見直しを検討します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	区民に対する普及・啓発や受動喫煙防止の環境整備は受益者負担になじみません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現在のところ受益者負担になるものではありません。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 推進		
評価と課題	飲食店や理髪店に対する講習会で制度のPRや郵送での個別勧奨を行い、喫煙対策実施施設(店)の登録は徐々に増えてきています。しかし、飲食店の分煙化の実施率はまだまだ低いのが現状です。平成22年2月に受動喫煙防止について厚生労働省の通知が出され、公共的施設は屋内全面禁煙の方向性が示されています。区では、公共的施設に様々な機会を通じ、受動喫煙防止対策について情報提供・相談を行い屋内全面禁煙の施設(店)を増加させるため、取り組みやすい方法を検討する必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	現状維持	減	コスト:	増	現状維持	減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	喫煙対策実施登録制度の未登録の飲食店に対し、郵送で勧奨のリーフレット等を配布するなどし、登録件数を増やすことができました。しかし、飲食店等での理解及び登録状況は、まだまだ低いのが現状です。						
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成22年2月に受動喫煙防止について厚生労働省通知がなされました。今後、飲食店等へ積極的に受動喫煙防止についての周知を図るとともに、現在の喫煙対策実施登録制度について、見直しをしていきます。						
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	公共的施設の受動喫煙防止について進めていくためには、たばこの流通・販売業者や喫煙者の理解と協力が必要になります。今後も地域全体について普及啓発を図る必要があります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	● 大幅減	○ 予算なし	
	(2)理由	登録用のプレート・ステッカーの在庫があるため、印刷枚数を減らしました。						

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		特定給食施設への指導		款	4	項	5	目	1	事業	15	整理番号	326		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	314			
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設		根拠法令等		(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○特定給食施設指導を通して、施設の栄養管理業務が向上する。 ○このことにより、喫食者の健康の維持増進がはかれる。		活動指標名(式)		(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数 (2) 講習会参加者数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○給食施設から提出された栄養管理報告書内容の確認 ○課題解決にむけ施設の巡回来所指導を実施 ○栄養管理向上のための講演会の実施 ○調理技術向上のための講習会の実施 ○地域での栄養イベント実施の機会の提供 ○自主的な学習・地域貢献団体への支援		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 給食の位置づけに対して十分機能している給食施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 喫食者に栄養・健康教育を実施した施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	施設	75	100	91	100	93	100	93.0	93.0				
	活動指標(2)	②	人	96	150	112	150	94	150	62.7	62.7				
	成果指標(1)	③	%	59	70	57	70	66	70	94.3	94.3				
	成果指標(2)	④	%	54.0	60.0	59.0	60.0	55.0	60.0	91.7	91.7				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	294	361	224	361	327	361	21年度予算執行率%		90.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	100	50	50	50	50						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.23	0.20	0.23	0.20	0.22	0.20	0.11	0.30	0.17	0.50	0.48	0.20
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,102	2,082	1,991	977	1,509	4,262					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	554	560	560	838	1,397	559					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	2,950	3,003	2,775	2,176	3,233	5,182						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	39,333	30,030	30,495	21,760	34,763	51,820						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	2,950	3,003	2,775	2,176	3,233	5,182						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 326

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	栄養管理者講習会	2	回	178
	栄養技術講習会	2	回	116
	栄養管理報告書の受理と指導	2	回	33
	自主団体が行う学習・地域貢献イベントへの支援	7	回	0
	その他 ()			
(2)事業実績	栄養管理報告の指導を通じて、給食の向上、ひいては喫食者の健康の維持増進に寄与しました。また、上半期には「高血圧治療ガイドライン2009を活用した食事療法」、年度末には「日本人の食生活基準2010年版への改定」と給食管理に必要な新しい情報の提供や、集団調理の実技の向上についての講習を行いました。			
事業開始当初から現在までの変化	本事業は、食料不足時代に工場や寮での給食内容の充実を図るために法が整備されたことにより開始しました。現在は、外食や既製食品の利用が容易になり、当初に主な対象となっていた事業所給食への依存は減少しました。また、当区では従来あった寮の給食施設が減少しています。代わって高齢者施設や保育園などの児童福祉施設の給食開始届出が増えてきました。平成16年度対21年度比較・・・高齢者施設数15→28 児童福祉施設数51→68			
事業環境の変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など) 老人保健施設からは「栄養ケアマネジメントについてアドバイスしてほしい」などの要望があります。保育園、幼稚園「給食に食育の視点を活かすためのアドバイスがほしい」などの要望があります。			
今後の予測	特別養護老人ホームや保育園をはじめとした児童福祉施設などの施設の増加が見込まれます。こうした施設の中で高齢者関係施設においては、ユニット型の運営が増加傾向にあり、本事業根拠法令である100食に満たない規模の調理場や喫食者数での運営が増加することとなり指導対象施設から除外することが予測されます。			
事業のあり方 点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)	指導などを通じて行われた適切な給食の実施により、喫食者(在住在勤者)の健康の維持増進に寄与しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	各々の施設が近隣住民に貢献活動をするよう支援していきます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益者負担を導入する性格の事業ではありません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	最低限のコストで事業を行っています。		
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	栄養報告書や巡回指導などを通じて特定給食施設指導を行うことにより、給食を通じた喫食者の健康の維持増進を支えてきました。一方、給食管理者の質の向上にむけ、講習会、勉強会等を開催していますが、業務従事により参加できない給食関係者が多いことが課題となっています。とりわけ、保育園給食関係者は午後3時以降の参加に限定されるケースが多くあります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 自主団体活動については、施設による意識差が大きく、広がりには限定的であるが、実施施設では着実に根付き、効果を上げています。		
(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、自主団体の効果的な活動が実践され、より多くの対象施設が活動に参加するよう勧奨していきます。そのことが各施設の給食管理にも活かされ、新たな取組がなされるよう支援していきます。		
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 勉強会や講習会を給食関係者の参加可能な時間帯にあわせて開催できるよう検討していきます。		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	(2)理由 現状の中で、引き続き努力していきます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		精神保健対策		款	4	項	5	目	1	事業	21	整理番号	332						
担当部課名		杉並保健所保健予防課		係名	保健予防係		連絡先電話番号		4525		昨年度整理番号	320							
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		精神障害者及びその家族ならびに一般区民		根拠法令等		(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (2) 杉並区精神保健事業実施要領											
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○心の健康問題に多くの人が関心を持つことで、精神障害者への理解を深め早期発見、早期治療につなげるために相談機能を充実します。 ○自殺予防に関する正しい知識の普及啓発のために、自殺の大きな要因であるうつ病対策に取り組みます。 ○回復途上の精神障害者の支援を行います。		活動指標名(式)		(1) 精神保健相談延べ件数(保健師の訪問、面接、電話相談) (2) 社会復帰訓練参加延べ人数											
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○精神科専門医や保健師による相談を実施する。 ○自殺予防として早期の治療につなげるため、うつ病など精神疾患についての講演会を実施する。 ○回復途上にある精神障害者への集団活動を通じた社会復帰訓練を実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)精神保健相談実相談件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 社会復帰訓練退所者の社会復帰率 算定式・指標の説明等 社会復帰訓練退所者のうち社会復帰と判断された者/社会復帰訓練退所者×100(%)											
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%								
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)									
指標	活動指標(1)	①	件	13,475	13,500	13,214	13,700	14,382	14,400	99.9	105.0								
	活動指標(2)	②	人	2,763	3,000	1,614	3,000	2,122	2,200	96.5	70.7								
	成果指標(1)	③	人	2,867	2,900	2,813	2,900	3,349	3,400	98.5	115.5								
	成果指標(2)	④	%	89.4	90.0	90.0	95.0	75.0	75.0	100.0	78.9								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	17,940	19,280	17,908	19,198	17,092	18,998	21年度予算執行率%			89.0						
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・区民の精神疾患への理解や心の健康づくりについては適当な指標がありません。 ・活動指標(1)成果指標(1)は、アデイクション等専門相談は含みません。 ・社会復帰訓練は、個人の目標に合わせた地域での自立を目標としているため、中断や入院しないで終了した時の状況を指標としました。									
	(内) 委託費	⑦	千円	0	993	975	1,129	986	1,103										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	9.12	0.91	9.62	0.89	9.59	0.89					9.52	0.24	11.86	0.29	10.57	0.44
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	83,357	87,061	86,790	84,528	105,305					93,851					
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	2,521	2,492	2,492	670	810					1,229					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	103,818	108,833	107,190	104,396	123,207	114,078										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	7,704	8,062	8,112	7,620	8,567	7,922										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0					
		国からの補助金等	⑭	千円	415	0	0	0	0					0					
		都からの補助金等	⑮	千円		428	428	577	557					576					
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0					0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	415	428	428	577	557	576										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	103,403	108,405	106,762	103,819	122,650	113,502										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 332

		内 容	規模	単位	事業費(千円)		
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	精神保健に関する相談	157	回	5,239		
		精神障害者の社会復帰訓練	233	回	10,287		
		心の健康づくりに関する講演会	12	回	436		
		自立支援医療受給者証等送付			1,038		
		その他 ()			92		
(2)事業実績	社会復帰訓練は、21年度から5保健センターとも週1回の新体制への移行はスムーズにできました。また個別支援ワーカーの活用により利用者も増加し活動の幅が広がりました。心の健康づくりに関しては、自殺の理由としてあげられている「うつ対策」に取り組み、相談件数も増加し自殺者数が減少しました。荻窪保健センターを中心にうつ病の患者を持つ家族会活動を支援しています。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	50年に保健所業務が区移管されるとともに、精神障害者に対する相談、社会復帰訓練事業が開始されました。現在は18年に施行された障害者自立支援法のもとに知的、身体、精神の障害者がそれぞれの目標に合わせた地域生活を送れるよう関係機関全体で支援しているため、役割の明確化が求められています。一方、自殺の一因となっているうつ病などの精神疾患に対して、区民への正しい知識の普及と早期対応のための講演会などの啓発活動が重要になっています。					
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	長期入院患者や入院退院を繰り返す不安定な精神障害者に対し、迅速できめ細かな対応が求められています。心の健康づくりは自殺対策にも有効で特に働き盛りの区民が参加しやすい形の啓発活動が求められています。自殺に繋がる要因としてうつ病だけではなく睡眠障害やアルコール問題への対応が求められています。うつ病の講演会など、働き盛り層が受講しやすい夜間、土日開催等の講演会の工夫が求められています。					
	今後の予測	依存症や発達障害などの対応が困難な者や、複数の問題を抱えている方の相談などが増え、処遇困難な事例の増加が見込まれます。					
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容						
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	10年連続で自殺者が3万人を超える現在、その一因といわれる心の病に関しての働きかけは行政として不可欠です。					
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容→)	職員の相談対応力を高めることで、処遇困難事例への対応を図ります。					
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく業務に受益者負担はなじみにくいです。また、精神疾患の予防は医療費の削減に効果があります。					
	(4)コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容→)	社会復帰訓練事業など民間団体の運営に委託している区もあります。					
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)((4)へ)	(2)協働等の相手					
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 実施継続					
評価と課題		精神保健相談は発達障害や依存症など多問題事例が増加している中、最初の相談窓口としての役割を果たしており、有効に活用されている。社会復帰訓練に関しては、個別支援ワーカーの活動も加わり利用者の増加が見られた。また卒業後も安定した社会生活を営めない場合もあり、個別ケースの事情に合わせたきめ細やかな継続的な支援も必要となっています。					
改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	精神障害者の社会復帰訓練については5保健センターで週1回開催への移行はスムーズにできました。個別支援ワーカーの活動は通所終了に向けて地域の社会資源を有効に活用できるような個々の自立目標に合わせて、作業所見学や就労相談、新規ケースの掘り起こし等効果的な支援ができました。また、自殺対策の一環として5月と9月の自殺予防月間にうつ病等の心の健康づくり講演会を充実させ、相談窓口対応ポケットブックを作成し職員に活用してもらいました。					
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	精神保健相談では障害者分野で試行される発達障害者の社会適応支援事業と連携し対応していきます。また、家族相談ミーティングを見直し依存症家族への支援を強化します。自殺対策の一環としてうつ病等の心の健康づくり講演会を働き盛り層が参加しやすい時間帯に開催するとともに地域の関係機関にゲートキーパー研修を実施し支援者づくりをしていきます。					
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	発達障害者の支援において活用できる社会資源が少なく、社会適応支援事業が試行開始されますが充分とは言えない状況です。発達障害に関する理解や支援の方法に関する研修を行い相談力を高める必要があります。また、自殺対策の一環としてうつ病等の心の健康づくり講演会を働き盛り層が参加しやすい時間帯に開催するとともに関係機関や職域団体との連携を図ります。					
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	①精神保健相談に関してはアデイクション等、精神専門医による専門相談を活用して相談技術の向上を図ります。 ②社会復帰訓練に関しては引き続き社会復帰に向けての地区活動の強化を行います。 ③心の健康づくりに関しては、うつ病等の講演会やゲートキーパー研修などは自殺対策の一環として取り組みます。					

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所等施設の維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	1	整理番号	350
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係		連絡先電話番号		4528		昨年度整理番号	337	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分				既定事業					
事業開始		平成	▼	11	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		保健所および保健医療センター利用者		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並保健所設置条例					
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		施設及び環境を安全で快適な状態にします。		活動指標名(式)		(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○保健所および保健医療センターの①庁舎管理 ②設備保守管理 ③備品管理を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
	成果指標名(1)		不具合件数		算定式・指標の説明等								
成果指標名(2)				算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	m ²	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②	件	15	15	17	17	17	17	17	100.0	100.0	
	成果指標(1)	③	件	21	0	22	0	21	0				
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	75,484	84,665	81,520	87,259	78,324	92,251	21年度予算執行率%		89.8	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	646	200	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	56,110	49,720	47,077	57,657	50,296	61,766	①平成11年4月竣工 ②建物面積は荻窪保健センターを含みます。 ③事業の性質上、目標値は設定しません。 ④平成18年4月組織改正によりレイアウト変更。 ⑤画像診断システムの保守委託については、平成17年度までは事務事業評価表を別にしていました(17年度整理番号442)が、平成18年度から本評価表に組み入れました。 ⑥杉並保健所一般事務については、平成20年度から事務事業評価表を別にしてしました。			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.54 0.00	0.54 0.00	0.64 0.00	0.40 0.20	0.45 0.20	0.60 0.00				
	人件費	⑨	千円	4,936	4,887	5,792	3,552	3,996	5,327				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	559	559	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	80,420	89,552	87,312	91,370	82,879	97,578				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	12,515	13,936	13,587	14,219	12,797	15,154				
	受益者負担分	⑬	千円	108	333	805	333	428	333				
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	108	333	805	333	428	333					
差引:一般財源⑰-⑬	⑱	千円	80,312	89,219	86,507	91,037	82,451	97,245					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.1	0.4	0.9	0.4	0.5	0.3					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 350

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	建物総合管理委託等	3	件		24,980
	光熱水費(電気・ガス・水道・電話)				20,456
	機械設備保守点検業務委託等	1	件		14,133
	画像診断システムの保守委託等(保健予防課)(委託等)	2	件		2,699
	その他(委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)				16,056
(2)事業実績	保健所及び保健医療センターの機能を低下させないよう、維持管理を行いました。				

事業開始当初から現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設しましたが、平成12年度と13年度の平日は休止となりました。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設しました。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大しました。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となりました。平成18年度地域保健課が新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日パパママ学級の委託事業などが始まり、土・日曜日の施設利用頻度は高まっています。平成19年度より「医療安全相談窓口」を開設しました。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
今後の予測	建設後10年以上経過しているため、建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費の増加が見込まれます。また、保健医療センターに歯科保健医療センターの機能を追加するなど、新たな機能の設置を求められているため、維持管理経費の増加が見込まれます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	保健衛生行政及び健康都市づくりの核である保健所を利用する区民に対して、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要です。
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制します。
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	条例に基づき適正です。
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	杉並区環境・省エネ対策実施プランに基づき、光熱水費の縮減に努めます。

協働等点検	(1)協働等の実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	経年劣化により修繕箇所が増加しているため、保健所を利用する区民が安全で快適に利用できるよう、今後も施設設備の不具合の発生を抑制していく必要があります。 再構築された杉並区環境・省エネ対策実施プランを職員全員が真摯に取り組むとともに、保健所を利用する区民にもよく理解されるよう努める必要があります。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	光熱水費の削減を行うことができました。 画像診断装置の台数減と再リース契約内容の変更により予算減となりました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識をさらに高めていきます。 また、定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制し、経費削減に努めます。 保健医療センターに新しい機能を設置します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	民間の事業所も混在する複合施設なので、勤務する者の形態が違い、経費削減の目的意識の徹底が困難です。 各課・事業所が実施する事業によって維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できません。 保健医療センターに新しい機能を設置するにあたり、関係団体等との調整が重要です。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	保健医療センターに歯科保健医療センターの機能を追加するなど、新たな機能の設置を求められているため、維持管理経費の増加が見込まれます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		荻窪保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	2	整理番号	351		
担当部課名		杉並保健所荻窪保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	338			
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理:健康相談・健診等の利用者、自主グループ				根拠法令等	(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 設備、機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民に快適な施設環境と、的確な相談や正確な健診等を提供します。				活動指標名(式)				(1) 建物面積㎡ (2) 保守委託契約件数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○設備、施設機器、医療機器等各種備品の管理、保守点検等を定期的実施し、必要に応じ修繕等を行う。				成果指標				※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)		修繕件数		算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等							

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	㎡	1,335	1,335	1,355	1,355	1,355	100.0	100.0		
	活動指標(2)	②	件	4	5	4	3	5	100.0	166.7		
	成果指標(1)	③	件	4	4	3	4	1	25.0	25.0		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,659	2,476	2,149	2,062	1,483	1,823	21年度予算執行率%	71.9	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	227	650	645	195	195	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	225	913	616	975	585	850			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.70 0.20	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	執行率が低下したのは、委託契約の廃棄物回収処理及び白衣等洗濯の発注量の減によるものです。		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	15,538	15,385	15,385	15,094	15,094			15,094
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	554	1,120	1,120	1,117	1,117			1,117
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	17,751	18,981	18,654	18,273	17,694	18,034			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	13,127	13,731	13,291	13,342	12,914	13,309			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	17,751	18,981	18,654	18,273	17,694	18,034			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 351

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	修繕費	1	件
		器機保守委託	5	件	585
		賃借料	1	件	214
		備品費	1	件	195
		その他(一般需用費)			488
	(2)事業実績	各種の健康診査や健康相談等を実施するため、医療機器等備品類買換え、保守点検委託を実施しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	急速に進む少子高齢化や女性の社会進出、変動する経済情勢などにより、区民の生活や価値観は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められています。また、医療関係機器等備品類に、耐用年数を超え、交換の時期を迎えているものも多くなりつつあります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駅に近いこともあり、調理実習室等の一般開放への要望があったため、保健センター共通の利用の基準を定めました。			
	今後の予測	今後、医療機器等備品類の老朽化が一層顕著になることから、センターを適切に維持管理するために計画的な更新が必要になります。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供していく施設として、適正に維持管理していくことは、区民の保健福祉の向上のために欠かせないものであります。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		この間、施設や機器等備品類の老朽化により維持費や修繕費が増加しています。今後も区民に適切な保健サービスを提供する施設として欠かせない備品類の更新が完了するまでの間は、費用増が見込まれます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		地域保健法に基づく利用者又は保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当です。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		設備機器・医療機器等備品類の使用手法や管理を適正に行い修繕回数を減少させるとともに、杉並区環境・省エネ対策実施プランに基づき用紙類や廃棄物の一層の削減を図ります。		
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	健診事業で用いる機器については、定期的な保守点検を行うなどで事業に支障がないよう、対応できました。健康づくり活動のための一般区民の利用に関しては、5保健センター共通の利用基準を定め統一的な対応ができました。荻窪保健センターは、複合施設の中にあるため、必ずしも来庁者に分かりやすい誘導とはなっていません。今後保健医療センターの改修が予定されている中、入居施設が増えることから、誘導動線のハード・ソフト面の対策が必要となります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 窓口、ローカウンターを設置し、各種申請を座って記入ができるようになりました。また、医療機器や設備機器を常に正常に保つよう、保守点検、買換えを行い適切な保健サービスの提供を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 この建物には、多くの施設が入居しています。多くの区民の来訪が予想されることから、1回ロビーで案内するなどスムーズに誘導する工夫が必要になってきています。また、一つの部屋を複数の部課で共有して使用するケースが増えてくることから、施設利用の調整が必要となってきます。今後保健医療センター改修予定の中で調整を図っていきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在予定されている、保健医療センター施設調整会議では、ソフト面までの検討が時間的にも、経費でも困難な状況にあります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	安全で安心なセンターの維持管理には、医療機器や設備機器を常に正常に保つ必要があり、一定額が見込まれます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高井戸保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	3	整理番号	352		
担当部課名		杉並保健所高井戸保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4506		昨年度整理番号	339			
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	42	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理:健康相談や各種健診等利用者、自主グループ		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備します。		活動指標名(式)		(1) 建物面積㎡ (2) 保守契約委託件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○庁舎、設備機器、医療機器等各種備品の管理を行うとともに、保守点検及び修繕を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
				成果指標名(1)		修繕件数		算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等							

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	㎡	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	100.0	100.0		
	活動指標(2)	②	件	15	15	16	16	15	100.0	93.8		
	成果指標(1)	③	件	13	15	8	10	6	60.0	60.0		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	13,002	14,435	13,848	14,438	13,913	13,086	21年度予算執行率%	96.4	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	6,827	8,000	7,759	7,233	6,958	7,183			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.85 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00	1.86 0.20	1.86 0.20			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	16,909	16,743	16,743	16,426	16,515	16,515		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	559	559		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	29,911	31,178	30,591	30,864	30,987	30,160			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	22,042	22,976	22,543	22,744	22,835	22,225			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	29,911	31,178	30,591	30,864	30,987	30,160			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 352

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務請負委託	1
		機械設備保守委託	1	件	277
		光熱水費	12	月	2,848
		修繕費	6	件	614
		その他 ()			5,374
	(2)事業実績	古くなった会議室の机や椅子の交換や、受付窓口へのローカウンターを設置などを行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められています。センターの施設は老朽化してきていますので、設備や施設の改修等が必要になっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーター設置の要望が出されています。			
	今後の予測	施設の老朽化に伴い、雨漏り、診察室の壁改修、地震等の災害時における破損の不安など、今後も計画的な改修、修繕を進めていくことが求められています。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することにより、保健福祉の向上に欠かせない施設です。		
	②成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容→)		施設の老朽化により、維持費や修繕費が増加しています。区民の誰もが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		安全、快適に利用できる施設改修を行います。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		区民の健康増進を目的としての施設管理であり、受益者負担はなじみません。		
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	安心で快適に利用していただける施設を目指して修繕等に取り組んできていますが、施設の老朽化の進行などにより、大規模な修繕が必要になっています。予算編成時期における予算要求や営繕課への要望など緊急度など優先順位をつけ改修をしていきます。また、環境・省エネ対策実施プランの趣旨を職員や利用者により理解されるよう努め、節電、紙の使用量の削減などに取り組んでいきます。				

改善・見直しの方向 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ローカウンターを設置や門扉の改修などを行っていますが、より、乳幼児、妊産婦、高齢者、障害者等の方々が安全で安心して利用できるバリアフリーの施設にしていくことが重要です。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境・省エネ対策実施プランの更なる実行や修繕、改修においては緊急度、優先度を見極め行っています。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限られた予算の中で大規模改修は困難ですが、営繕課調査を通して実現できるよう要望を引き続き強めていきます。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 清掃、機器等の契約や高熱水費などコスト削減に努力しますが、施設改修を行いセンター機能を充実させることも区民サービスの向上につながると考えます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	4	整理番号	353		
担当部課名		杉並保健所高円寺保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4512		昨年度整理番号	340			
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理:健康相談・健診等利用者、自主グループ		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○施設・設備機器等の維持管理:①健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、安全で快適な環境を整備します。		活動指標名(式)		(1) 建物面積㎡ (2) 保守委託契約件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○庁舎・設備機器等の維持管理、保守点検等を定期的に行い、必要に応じて修繕を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
				成果指標名(1)		修繕件数		算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等							

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	㎡	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	100.0	100.0		
	活動指標(2)	②	件	14	14	14	14	14	100.0	100.0		
	成果指標(1)	③	件	11	10	17	5	5	100.0	100.0		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	21,557	23,828	22,464	21,135	16,331	17,597	21年度予算執行率% 77.3		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	507	69	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	12,236	13,861	13,323	14,733	11,508	8,429			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.51 0.00	1.60 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,710	13,575	13,575	13,319	13,407	14,206		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	35,267	37,403	36,039	34,454	29,738	31,803			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	19,694	21,152	20,419	19,521	16,849	18,019			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	205	222	187	0	0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	205	222	187	0	0	0			
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	35,062	37,181	35,852	34,454	29,738	31,803			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.6	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 353

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務請負委託	1
		機械設備保守委託	1	件	806
		光熱水費	12	月	2,405
		その他 (分室を含む各種保守業務委託、賃貸借料ほか)			9,790
	(2)事業実績				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数年前から、空調設備・給排水等の大規模改修の必要性が指摘されてきましたが、平成20年度に補正予算により、大規模改修工事の設計費が計上され、平成21年度には当初予算により、改修工事費が計上され、大規模改修工事を実施しました。工事期間中は阿佐谷南の代替施設で一部業務を縮小して執務しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	明るくきれいになった庁舎への評価がある一方で、2階の事務室への昇降手段が従前どおり階段しかないことへの落胆の声も聞かれます。			
	今後の予測				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
			地域の健康相談、健康づくりの拠点としての保健センターの施設の安全と管理を実施する意義は大きいものがあります。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)		老朽化した機器や設備の改修により、省エネ等の効果につながるものと思われます。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		今後施設の耐久性を少しでも長く保つために、日常的な維持管理方策を工夫する必要があります。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		施設維持管理費を受益者負担にすることは、保健センター設置の趣旨にはそぐわないものです。		
(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		個別空調化など、昨年度の改修により光熱水費や修繕費の削減が見込まれます。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		新しくなった施設の良好な保全のため、緻密な保守点検等適正な維持管理を行う必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 大規模改修工事を実施し、老朽化が進行していた施設の大幅な改善を行いました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 適正な保守管理を行うことにより、維持管理費の削減や施設の安全管理に努めます。分室は所管課を見直し、より有効な施設利用を検討する必要があります。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大規模な機器の入れ替えを行ったため、どの程度維持管理経費の削減につながるかは未知数の部分があります。今年度の執行状況により今後の予算見積等を検討する必要があるかもしれません。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由 引き続き、区民が安心かつ快適に利用できる施設として、適正な維持管理に努めます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		上井草保健センターの維持管理			款	4	項	5	目	6	事業	5	整理番号	354		
担当部課名		杉並保健所上井草保健センター			係名	業務係			連絡先電話番号	4504			昨年度整理番号	341		
上位施策No・施策名										22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 施設の維持管理:健康相談・健診等の利用者、自主グループ					根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備するとともに非常時の安全確保を図る。					活動指標名(式)		(1) 建物面積1㎡ (2) 保守契約委託件数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○庁舎・設備機器の維持管理、医療機器等各種備品を管理するため保守点検及び修繕等を行う。					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	㎡	815	815	815	815	815	815	815	100.0	100.0				
	活動指標(2)	②	件	11	11	11	11	11	11	11	100.0	100.0				
	成果指標(1)	③	件	10	10	14	10	13	10	10	130.0	130.0				
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,258	12,410	10,361	10,997	10,173	9,154	21年度予算執行率%		92.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	4,585	5,268	5,061	5,207	5,071	5,109							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.13	0.05	1.13	0.05	1.13	0.05	1.10	0.00	1.10	0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,328	10,227	10,227	10,033	9,767	9,767						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	139	140	140	140	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	20,725	22,777	20,728	21,170	19,940	18,921							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	25,429	27,947	25,433	25,975	24,466	23,216							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	20,725	22,777	20,728	21,170	19,940	18,921							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 354

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務委託	1
		機械設備保守委託	1	式	505
		光熱水費			1,386
		修繕費	13	件	1,823
		その他 ()			3,245
	(2)事業実績	清掃業務として日常及び定期清掃の実施及び清掃員の配置。機械設備保守業務として空調設備等の定期点検を委託実施しているほか、リース備品の賃貸借料の支払、電気・ガス・水道の光熱水費の支払い、修繕の請負業務と支払等が主な取り組みとしての実績です。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期をむかえています。ベビーカー等の盗難に備え、防犯カメラを設置しました。検査を伴う健診が廃止されレントゲン室の機器が撤去されました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーター設置の要望が出ています。			
	今後の予測	省エネ実施プランを達成するためには、節減努力に加え、省エネ対応設備に交換する必要があります。事業縮小による空き室を有効に活用していきます。老朽化に伴い、修繕経費の増加が見込まれます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設です。		
	②成果向上のための方策		施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民のだれもが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		使っていない時間に利用できる会議室の一般利用の創設		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		省エネルギー化に一層努め光熱水費の減量		
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	利用者に乳幼児・高齢者・障害者が多いが、2階への事業参加に階段を使用しなければならない。安全確保のためには老朽化による修繕箇所を早期発見し対応する。光熱水費については、省エネ実施プランに基づき、経費の節減に努める必要があるが、省エネ対応機器の交換による方法との費用対効果を検証する。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	コスト:			
	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	エレベーター設置などの大規模修繕は建替え時期に検討する。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	エレベーター等の設置は改築時に実施するが、日常点検にて危険箇所を発見し修繕を実施します。			
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	多額の費用がかかります。新たな施設の需要が生じた場合に併設等で改築が可能か検討します。				
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2)理由	老朽化した玄関の柱と庇部分を塗り直します。			

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		和泉保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	6	整理番号	355		
担当部課名		杉並保健所和泉保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4508		昨年度整理番号	342			
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	56	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理:健康相談・健診等の利用者、自主グループ				根拠法令等	(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○庁舎・機器の保全・保守に努めます。 ○健診・相談等で来所した区民にとって快適で安全な環境を整備します。				活動指標名(式)				(1) 建物面積㎡ (2) 保守委託契約件数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○庁舎・設備機器の維持管理、保守点検等を定期的に行い、必要に応じて修繕を行う。				成果指標				※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	㎡	620	620	620	620	620	620	620	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	件	11	11	11	11	11	10	11	90.9	90.9			
	成果指標(1)	③	件	5	1	4	5	7	5	5	140.0	140.0			
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	8,375	9,657	8,864	9,898	9,170	8,940	21年度予算執行率%		92.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	4,063	4,915	4,740	5,335	5,070	4,816						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,226	8,145	8,145	7,991	7,991	7,991					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	16,601	17,802	17,009	17,889	17,161	16,931						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	26,776	28,713	27,434	28,853	27,679	27,308						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	16,601	17,802	17,009	17,889	17,161	16,931						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 355

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	1
		光熱水費			1,571
		修繕費	7	件	740
		その他 ()			1,789
	(2)事業実績	歯科室、栄養室等の耐震修理及び防犯カメラの設置により、施設の安全性の向上を図りました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは施設の経年劣化に伴い、設備修繕の必要性が発生しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	乳幼児と母親を対象とした事業の充実が求められます。			
	今後の予測	今年度から一般と障害者を対象とした検査をとまなう健康相談業務はなくなり、乳幼児や母親を対象とした事業が中心となります。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、乳幼児健診・健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設です。		
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		誰もが利用しやすい施設にするためにトイレのベビーチェア整備等、施設設備の改修工事が必要です。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[対象の縮小](具体的内容→)		地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当です。		
(4)コストを下げる余地はあるか ある[対象の縮小](具体的内容→)		保健センターの役割分担の見直しにともない、健診が一般から乳幼児等に変更により、医療機器等各種備品の管理等あり方の検討によりコストの削減を図る余地はあります。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		施設の使用が乳幼児・母親・妊婦が中心となるので、利用者のニーズにあった改修が望まれる。施設の老朽化に対応した改修を進める必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 事務機器・医療機器等で年数を経過したものをリース替えて、22年度は新しい機器で事業実施します。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設開所から間もなく30年を経過するので、大規模な改修も視野に入れて、改修可能な設備から改善を進めます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難ですが、営繕課の施設調査を通して働きかけていきます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 利用者の安全を優先して、耐震強化等を重視します。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺保健センターの改修		款	4	項	5	目	7	事業	1	整理番号	358	
担当部課名		杉並保健所高円寺保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4512		昨年度整理番号	345		
上位施策No・施策名										22	健康なまちづくりの推進		予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 地域保健法、同施行令、同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○施設の改修:①施設・設備等の老朽化に伴う空調設備、給排水設備、外壁等の大規模改修を行うことにより、施設設備の改修、改善を図ります。			活動指標名(式)		(1) 建物面積1㎡ (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○施設の大規模改修工事を実施する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)										
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	㎡		1,765	1,765	1,765	1,765	0			100.0		
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	5,801	3,046	270,118	263,814	0	21年度予算執行率%		97.7		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	5,801	3,046	270,118	263,814		特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	5,292	3,046	261,318	258,886						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	1.00 0.00	1.03 0.00	0.00 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	1,810	1,810	8,879	9,145	0				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	7,611	4,856	278,997	272,959	0					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円		1,025	1,025	5,031	5,181						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	0	7,611	4,856	278,997	272,959	0					
受益者負担比率⑬÷⑪		%		0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 358

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事	1	件	251,208
	初度調弁	1	件	4,928	
	その他 (工事監理、備品運搬等)			7,678	
	(2)事業実績				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数年前から、空調設備、給排水設備等の大規模改修の必要性が指摘されてきましたが、施設維持に限界が生じてきたため、平成20年度に補正予算により設計費が計上され、引続き平成21年度に当初予算により、改修工事費が計上され、大規模改修工事を実施しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	明るくきれいになった庁舎への評価がある一方で、2階の事務室への昇降手段が従前どおり階段しかなくことへの落胆の声も聞かれます。			
	今後の予測	確実な保守点検等により施設の良好な維持管理を行う必要があります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか	頻繁に起きていた空調や給排水、雨漏りなどが改善され、施設設備環境が改善されました。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	今後施設の耐久性を少しでも長く保つために、日常的な維持管理方策を工夫する必要があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は				
	(4)コストを下げる余地はあるか				
協働等点検	(1)協働等の実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		